令和５年度　南信州広域連合地域自立支援協議会

くらし部会（知的障がいチーム）活動報告

〔１〕本年度のねらい

昨年度の活動のまとめから検討課題を取り上げ、部会参加者からも学びたい課題を挙げてもらい年間計画を立てる。テーマによっては前年度に引き続き検討をするものもあり、部会参加者が主体的に作り上げる部会を目指す。また、事例検討や実践報告から日々の支援に生かせるような学びの場とすると共に地域の課題に取り組んでいく。

〔２〕部会の開催及び取り組み内容

●開催日時

◎第２木曜日または第３木曜日　１０：００～１１：４０

・第１回　　５月１８日（木）「年間計画」「情報共有」　　　　　　　　１５名

・第２回　　７月２０日（木）「飯田養護学校のケース」　　　　　 　　１５名

・第３回　　９月２１日（木）「意思決定支援について」　　　　　　　 １９名

・第４回　１１月１６日（木）「施設入所支援と地域生活について」

　　　　　　　　　　　　　　圏域の状況、アンケートについて　　　　１８名

・第５回　 １月１８日（木）「施設入所支援と地域生活について」　　 １５名

・第６回　３月　１４日（木）「今年度のまとめ」「来年度に向けて」　　１７名

1. 成果

　　・部会開催日については、２か月に１回の頻度が適との意見が多く、年間を通じて参加していただける方も多かったが、複数の部会に参加されている方は調整に苦労されたこともあり、来年度の開催において他部会との日程調整も行った。

　　・他職種の部会員の参加により、立場の違いによる様々な意見交換ができ、それぞれの学びとなった。

　　・飯田養護学校のケースについて、意思決定支援について事例検討を行うにあたり、グループワークを取り入れ意見が出しやすい利点があった。更にスーパーバイズにより事例検討が深まった。

　　・施設入所者の地域生活への移行については、まず、圏域の状況把握から取り組むこととし、各入所施設へのアンケート内容の検討を行い、各入所施設へアンケートの回答を依頼させていただいた。

　 ・地域移行を検討するにあたり、保護者の高齢化、また地域資源や日中活動、他必要な支援等についても多く意見が出された。

1. 令和６年度に向けて

　・アンケートをもとに施設入所者の地域移行について検討する。

　・飯田養護学校の事例検討。

　・グループワークによる事例検討を行いたい。

　・高齢者の方への支援について学びたい。

　・愛着障がいについて検討したい。

　・困難ケースについて、成果のあったケースについて検討したい。

　・報酬改定について。